

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	健康長寿課					
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保		重点的方針	1. 高齢者の安心な暮らし支援				
分野別方針	(2)介護予防・生活支援サービスの推進		実施計画事業	2)生活支援サービス推進事業(No.3)				
予算等事業名	在宅高齢者生活支援事業							
目的	高齢者へ在宅サービスを提供し、安心して地域で生活することが出来る様に支援するとともに、家庭の事情で在宅で生活することが困難な自立高齢者を養護老人ホームへ措置する。							
内容	高齢者へ在宅サービスを提供し、安心して地域で生活することが出来るように支援する。また、介護保険の補完部分としてのサービスも提供する。							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

総合評価

実績	「紙おむつ支給」「ほっと安心ヘルパー(軽度生活援助)」「寝具乾燥消毒」「配食サービス(夕食弁当配達)」「移送サービス(タクシー券支給)」「訪問理美容助成」の実施。						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	サービス利用者数						
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—			
	172						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		4,422	3,233				
財源内訳	一般財源	4,422	3,233				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 高い高齢化率の中、また核家族化が進む中、高齢者福祉サービスが必要不可欠であり、今後更なる需要が多くなると思われることから、公費の投入は妥当である。	
	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 多様な業者と委託し、多くのニーズに応えるため、委託は妥当と考える。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 高齢者の福祉サービスの需要も急増している中、年々利用者も増加しており、成果は上がっているものと思われる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 サービスによっては町の補助率が多いものもあり、その点については補助率を変更するなど、改善が必要である。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 「寝具乾燥消毒」や「訪問理美容助成」など、極端に利用者が少ないサービスがあり、今後も継続するか検討する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	極端に利用者の少ないサービスは廃止し、その分の手間や予算を、需要の多いサービスに充当する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	独居高齢者や高齢者のみ世帯が増える中、地域での生活を継続するため介護保険の補完的な部分としての福祉サービスを展開していくことは必要であるため。また、サービスを受ける高齢者は低所得者が多く福祉的意味合いも強い。		
今後の方向性	各種サービスについては、広報等周知はしているものの取り扱い件数の少ないものもあり、各サービスの見直しの検討が必要である。		